

7) 長寿命化修繕計画策定

検討条件

- ・ 検討期間
平成22年度より平成71年度までの50年間とする。
- ・ 対象橋梁
長寿命化修繕計画の対象である橋長15m以上の橋梁の全7橋を対象とする。
- ・ 維持管理水準（目標健全度）
部材最小健全度：60以上を目指す。（長崎県の維持管理水準に準じる）
橋梁平均健全度：70以上を目指す。（長崎県の維持管理水準に準じる）
- ・ 投資予算年次計画
橋梁補修予算として補修工事費を見込むものとする。
- ・ 検討計画案
 - ケース 1 : 1年目8000万円→以降500万円/年
 - ケース 2 : 2年間4000万円→以降500万円/年
 - ケース 3 : 3年間2600万円→以降500万円/年

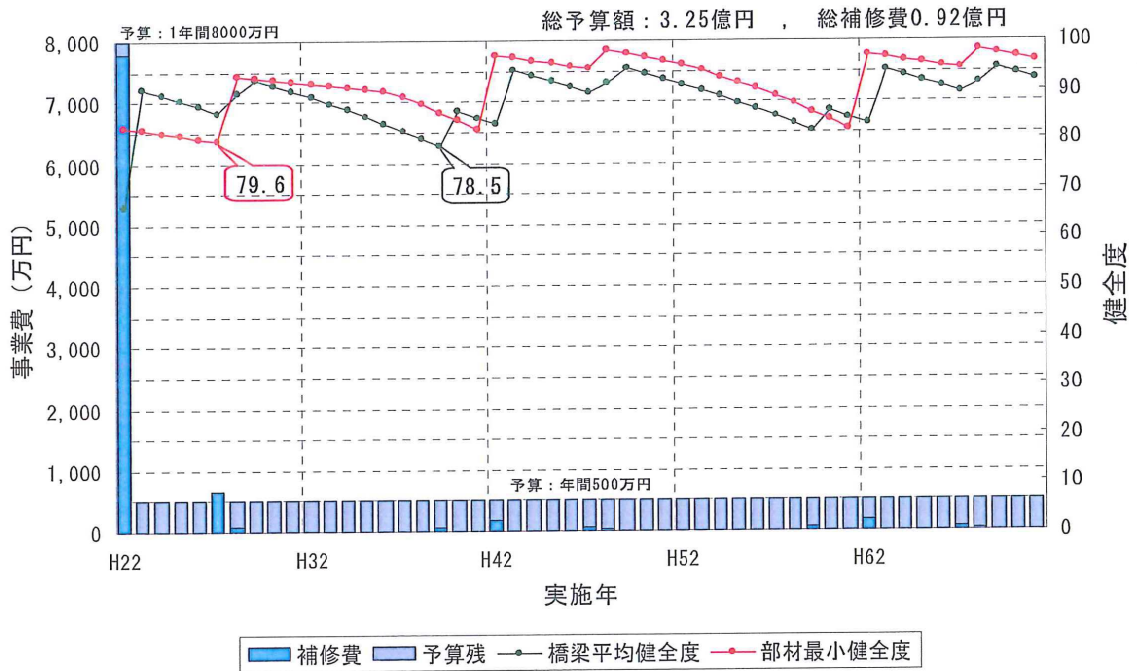
CASE-1

予算：1年目8000万円、2年目以降500万円

総予算額：3.25億円

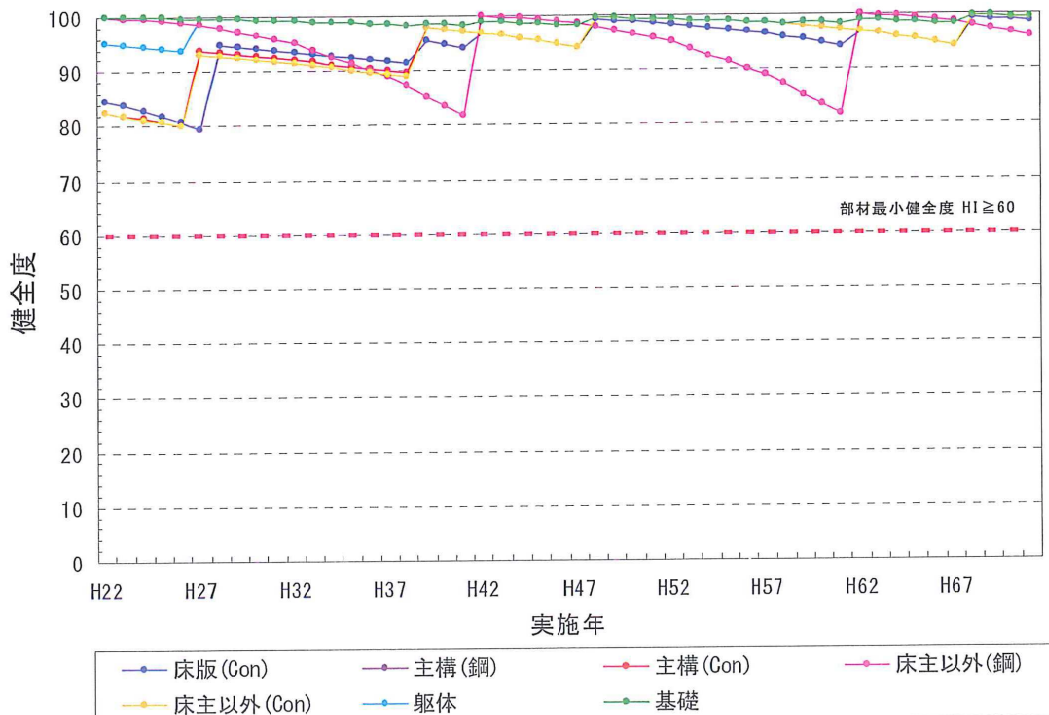
総補修費：0.92億円

投資シミュレーション結果 (CASE-1)



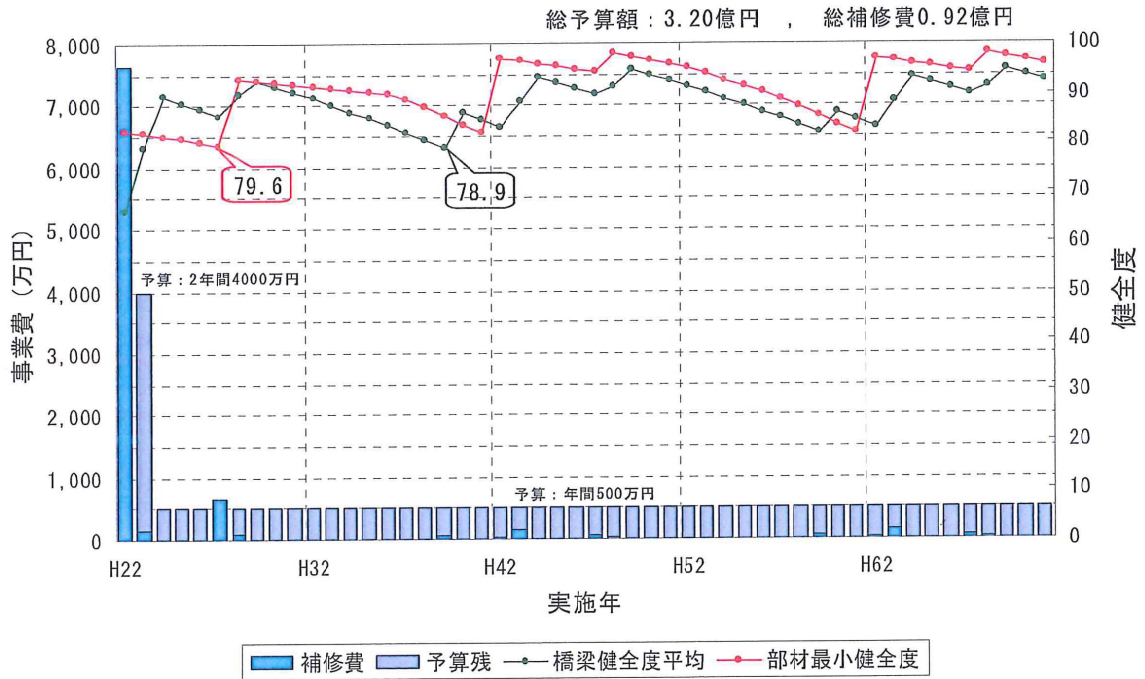
※ 初年度の補修費は中田橋において7,600万円/橋となっている。

部材最小健全度



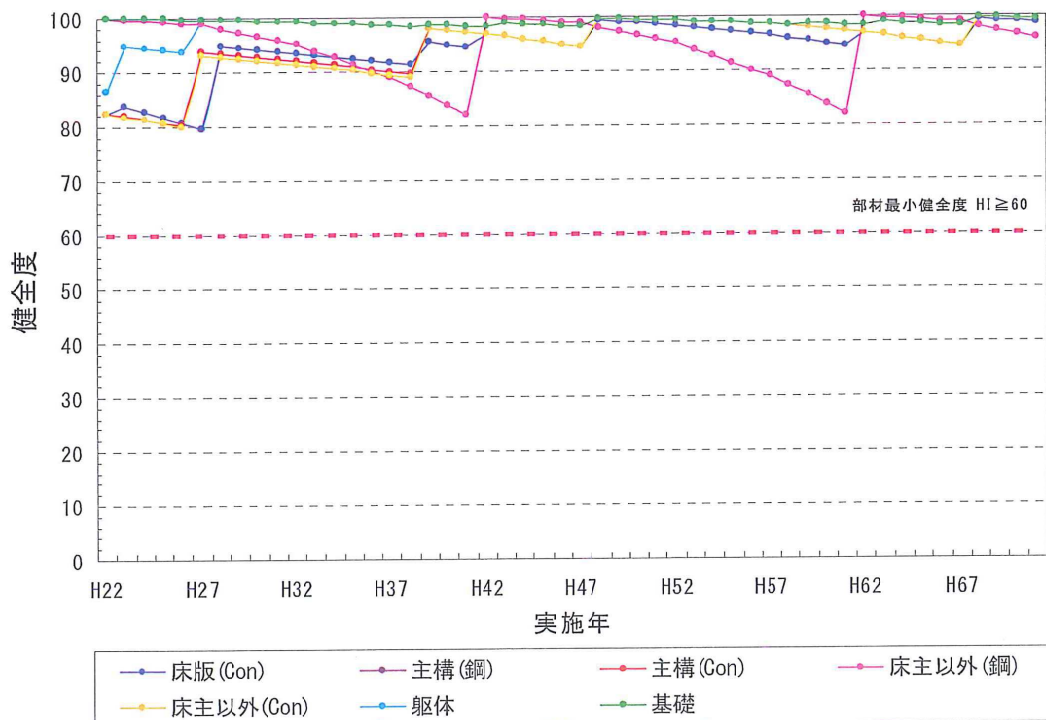
CASE-2 予算：2年間4000万円、3年目以降500万円
 総予算額：3.20億円
 総補修費：0.92億円

投資シミュレーション結果 (CASE-2)



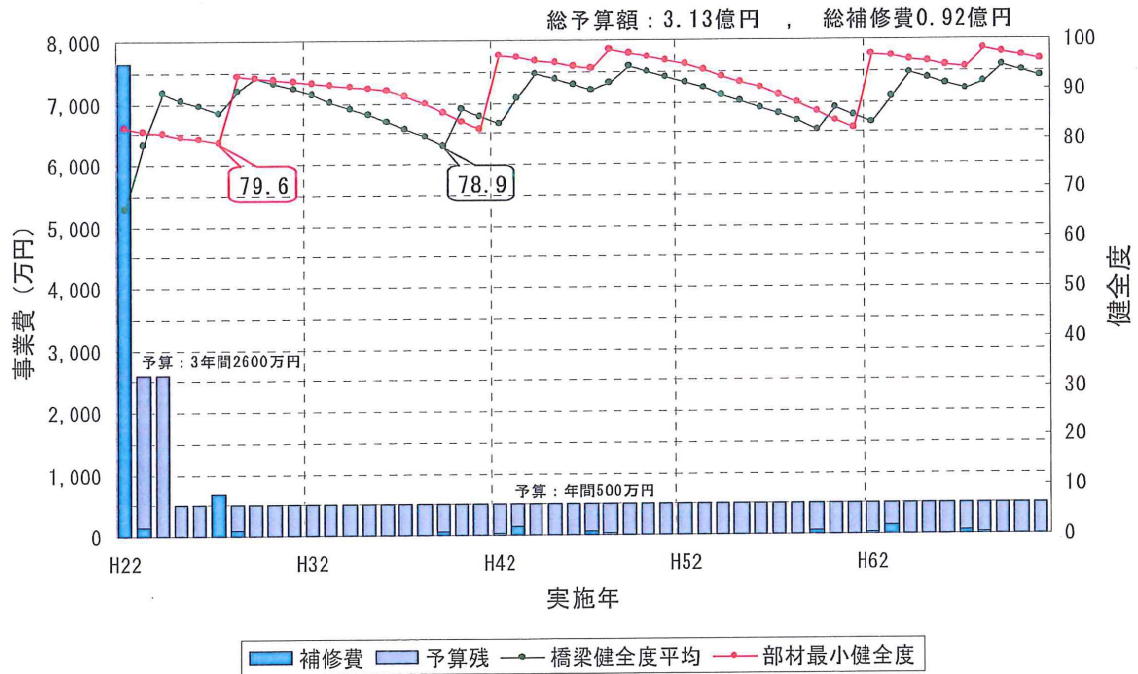
※ 初年度の補修費は中田橋において7,600万円/橋となっている。

部材最小健全度



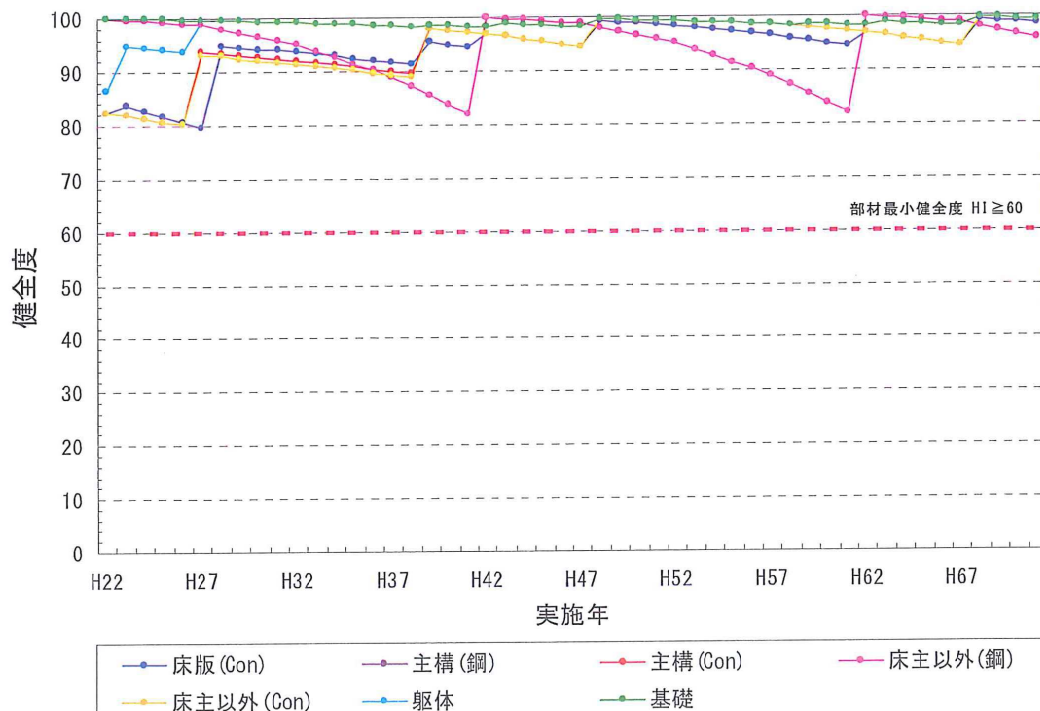
CASE-3 予算：3年間2600万円、4年目以降500万円
 総予算額：3.13億円
 総補修費：0.92億円

投資シミュレーション結果 (CASE-3)



※ 初年度の補修費は中田橋において7,600万円/橋となっている。

部材最小健全度



経過年毎の健全度の推移

各ケースごとの過年度の健全度の推移を下表にしめす。

経過年毎の健全度の推移

	5年後	10年後	15年後	20年後	25年後	30年後	35年後	40年後	45年後	50年後
CASE-1	86.7	89.9	83.2	84.3	90.7	92.2	85.9	84.3	90.7	92.2
	80.1	91.8	89.8	81.9	94.9	95.8	90.1	81.9	94.9	95.8
CASE-2	86.9	90.2	83.5	84.7	90.9	92.5	86.2	84.7	90.9	92.5
	80.1	91.8	89.8	81.9	94.9	95.8	90.1	81.9	94.9	95.8
CASE-3	86.9	90.2	83.5	84.7	90.9	92.5	86.2	84.7	90.9	92.5
	80.1	91.8	89.8	81.9	94.9	95.8	90.1	81.9	94.9	95.8

※ 上段：橋梁平均健全度（目標健全度70）
下段：部材最小健全度（目標健全度60）

CASE-1の1年目8000万円以降500万円もCASE-2の2年間4000万円以降500万円もCASE-3の3年間2600万円以降500万円も明確な差は見あたらない。全体的に概略点検の結果が良く健全度が高いため数橋の橋梁に対し補修を行うことで早期に予防的な修繕に移行することが出来る。

この3ケースを踏まえ、川棚町が調達できる資金及び補修対象時期を考慮し長寿命化修繕計画の計画案を次頁以降に示す。